



平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年1月7日

上場取引所 東

上場会社名 わらべや日洋株式会社

コード番号 2918

URL <http://www.warabeya.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 妹川 英俊

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 森浦 正名 TEL 042-345-3131

四半期報告書提出予定日 平成27年1月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績（平成26年3月1日～平成26年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	153,184	8.3	3,706	△0.5	4,020	1.7	2,435	2.4
26年2月期第3四半期	141,381	6.7	3,726	△0.6	3,954	0.1	2,378	13.6

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 2,558百万円 (2.0%) 26年2月期第3四半期 2,508百万円 (20.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	138.29	—
26年2月期第3四半期	135.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	78,782	40,790	51.8
26年2月期	71,104	38,848	54.6

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 40,790百万円 26年2月期 38,848百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	35.00	35.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	204,000	9.4	4,200	12.9	4,500	13.7	2,450	7.8	139.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期3Q	17,625,660株	26年2月期	17,625,660株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	11,286株	26年2月期	11,226株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期3Q	17,614,406株	26年2月期3Q	17,614,515株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済政策や金融緩和を背景に、輸出企業の業績や雇用情勢に改善の動きがみられたものの、消費税増税後の個人消費の低迷などもあり、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

食品業界では、消費者の低価格志向が継続する一方で、原材料価格の上昇、雇用の改善にともなう人手不足などもあり、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況下、当社グループは、主要顧客であるセブン-イレブンの積極的な出店や、チルド温度帯商品の販売伸長などにより、売上を拡大しました。また、今後の売上増加に対応するために、6月から稼働した新設の浦和工場(チルド米飯専用工場)でも生産が本格化しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,531億8千4百万円(前年同期比118億3百万円、8.3%増)となりました。利益面ではパート人件費の増加やエネルギーコストの上昇、香川工場および浦和工場の初期赤字などにより、営業利益は37億6百万円(前年同期比1千9百万円、0.5%減)、経常利益は40億2千万円(前年同期比6千6百万円、1.7%増)、四半期純利益は24億3千5百万円(前年同期比5千7百万円、2.4%増)にとどまりました。

セグメントごとの事業概況は、以下のとおりです。

[食品関連事業]

納品店舗数の増加、「おにぎり」や「チルド弁当」などの売上が伸長したことにより、売上高は1,187億9千万円(前年同期比91億9千2百万円、8.4%増)となりました。一方、営業利益は、増収効果はあったものの、香川工場・浦和工場の初期赤字やパート人件費の増加などの影響を受け27億9千5百万円(前年同期比2億6千9百万円、8.8%減)となりました。

[食材関連事業]

水産加工品の取扱高が増加したことなどにより、売上高は188億2千4百万円(前年同期比10億8千5百万円、6.1%増)となりました。一方、営業利益は、増収効果はあったものの、円安の影響などにより2億1千1百万円(前年同期比1千9百万円、8.6%減)となりました。

[物流関連事業]

セブン-イレブンの店舗増加に伴い、共同配送事業の取扱高が増加したことなどにより、売上高は95億6千6百万円(前年同期比1億9百万円、1.2%増)、営業利益は2億4千5百万円(前年同期比1億9百万円、79.9%増)となりました。

[その他]

食品製造設備事業が好調だったことなどにより、売上高は60億3百万円(前年同期比14億1千6百万円、30.9%増)、営業利益は4億8千2百万円(前年同期比1億8千8百万円、64.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて76億7千7百万円増加し、787億8千2百万円となりました。これは現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べて57億3千6百万円増加し、379億9千1百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金、未払金が増加したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べて19億4千1百万円増加し、407億9千万円となりました。これは、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことおよび利益剰余金の配当によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の通期の連結業績予想は、平成26年10月2日付「平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」で発表しました数値から変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,711	10,602
受取手形及び売掛金	15,712	18,154
商品及び製品	3,178	2,598
原材料及び貯蔵品	902	900
その他	2,600	2,447
貸倒引当金	△60	△128
流動資産合計	29,044	34,574
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	41,362	43,550
減価償却累計額	△24,680	△25,876
建物及び構築物(純額)	16,682	17,673
機械装置及び運搬具	17,238	18,619
減価償却累計額	△12,473	△13,177
機械装置及び運搬具(純額)	4,765	5,442
土地	12,382	12,382
建設仮勘定	545	0
その他	6,417	7,857
減価償却累計額	△3,025	△3,647
その他(純額)	3,392	4,209
有形固定資産合計	37,768	39,708
無形固定資産		
その他	348	394
無形固定資産合計	348	394
投資その他の資産		
その他	3,945	4,107
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	3,942	4,104
固定資産合計	42,059	44,207
資産合計	71,104	78,782

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,005	11,953
短期借入金	100	—
1年内返済予定の長期借入金	1,244	1,189
未払金	7,044	9,250
未払法人税等	962	1,080
賞与引当金	767	1,252
役員賞与引当金	—	107
その他	2,906	3,072
流動負債合計	22,031	27,906
固定負債		
長期借入金	4,320	3,410
退職給付引当金	2,023	2,103
資産除去債務	965	1,006
その他	2,914	3,564
固定負債合計	10,223	10,085
負債合計	32,255	37,991
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,049	8,049
資本剰余金	8,143	8,143
利益剰余金	22,546	24,365
自己株式	△17	△17
株主資本合計	38,722	40,541
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105	145
繰延ヘッジ損益	△9	46
為替換算調整勘定	30	56
その他の包括利益累計額合計	126	248
純資産合計	38,848	40,790
負債純資産合計	71,104	78,782

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	141,381	153,184
売上原価	120,257	130,632
売上総利益	21,123	22,552
販売費及び一般管理費	17,397	18,845
営業利益	3,726	3,706
営業外収益		
受取利息	9	8
受取配当金	232	194
受取賃貸料	119	162
その他	180	198
営業外収益合計	542	564
営業外費用		
支払利息	84	73
固定資産除却損	83	33
賃貸収入原価	68	116
その他	78	25
営業外費用合計	315	249
経常利益	3,954	4,020
特別利益		
補助金収入	—	84
特別利益合計	—	84
特別損失		
関係会社貸倒引当金繰入額	—	68
特別損失合計	—	68
税金等調整前四半期純利益	3,954	4,036
法人税、住民税及び事業税	1,793	1,841
法人税等調整額	△218	△240
法人税等合計	1,575	1,600
少数株主損益調整前四半期純利益	2,378	2,435
四半期純利益	2,378	2,435

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,378	2,435
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57	40
繰延ヘッジ損益	△0	56
為替換算調整勘定	72	25
その他の包括利益合計	129	122
四半期包括利益	2,508	2,558
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,508	2,558

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	109,597	17,739	9,457	136,794	4,587	141,381	—	141,381
セグメント間の内部売上 高または振替高	0	1,183	2,136	3,319	10,217	13,537	△13,537	—
計	109,597	18,922	11,593	140,114	14,805	154,919	△13,537	141,381
セグメント利益	3,064	230	136	3,432	293	3,725	0	3,726

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品製造設備の販売、人材派遣、業務請負を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	118,790	18,824	9,566	147,181	6,003	153,184	—	153,184
セグメント間の内部売上 高または振替高	0	1,384	2,593	3,977	12,146	16,124	△16,124	—
計	118,790	20,209	12,159	151,158	18,149	169,308	△16,124	153,184
セグメント利益	2,795	211	245	3,252	482	3,734	△28	3,706

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品製造設備の販売、人材派遣、業務請負を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△28百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。